

ずし

日本共産党逗子市後援会 ニュース NO21

2016年

夏号

(部内資料)

発行：日本共産党逗子市後援会

連絡先：橋爪 明子 (090-3336-8001)

一人区32地区で、統一候補決定 野党＋市民の力で 安倍自公政権を 退陣に追い込もう！



あさか由香予定候補と5月22日池子の森自然公園散策

安倍自公政権の暴走に審判を下す絶好の機会、参議院選挙が目前です。

5月31日、野党4党共同で安倍内閣不信任案を提出し、志位委員長は五つの大罪をあげ退陣を迫りました。大罪とは、①憲法違反の戦争法を強行、立憲主義を根底から破壊しようとしている。②アベノミクスは破綻し日本経済と国民生活を深刻な危機に陥れている。③国会決議すら無視したTPPの強行をはかる。④福島原発事故が収束しないもともとで原発再稼働と原発輸出への暴走。⑤沖縄県民の意思を無視した新基地建設の押し付けなどです。不信任案は自公等により否決されましたが、いずれも参院選の重要な論点です。

議題

一年間の経過報告

活動方針

ふるってご参加ください。

七月二十三日 午前十時
新宿会館二階

総会のご案内

おねがい

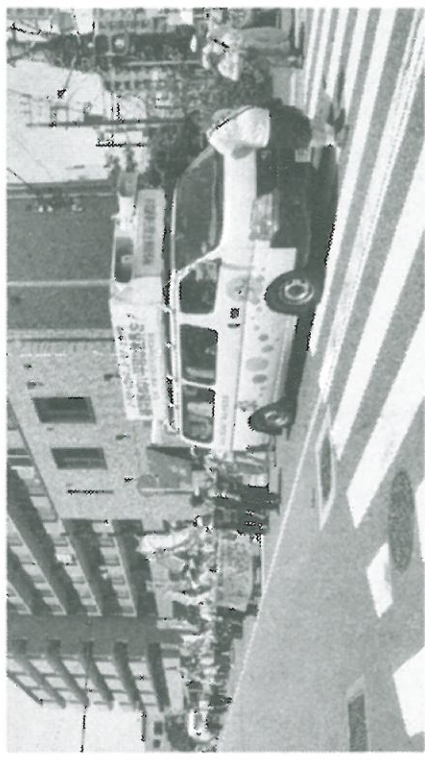
- ・ポスターの張り出し場所の提供をお願いします。
- ・チラシ・ニュースなどの配布の協力をお願いします。
- ・選挙募金に協力をお願いします。

あさか由香さん なんとしても国会へ

昨年9月19日未明 戦争法が強行されたその日の午後日本共産党は「戦争法廃止で一致する野党は来るべき国政選挙で選挙協力を行おう」と提唱し、広範な共感を呼びました。参議院選挙では全国に32の1人区があり、統一候補擁立の運動が各県で政党、団体、個人によりねばり強く練り広げられ、結果32すべてで統一候補が決まりました。「バラバラでは自公に勝てない、統一して欲しい」のつよい草の根の根の根の根の後押ししたから実現できたのです。政治は変わるし変えられます。これにより選挙の様相が一変しました。4月に行われた衆議院北海道5区の補欠選挙で野党統一候補の池田真紀さんは僅差で敗れたとはいえ大健闘し、無党派層の7割の支持を集めました。共産党は全力で闘ったとメディアは報じています。

政治を着実に変えていくには日本共産党がもっともつと大きくすることが必要です。比例で全国850万票、神奈川で70万票を確保し、「比例9人全員」と神奈川県選挙区のあさか由香さんの議席を獲得しましょう。

みなさん、日本共産党への支持を大いに広げてください。心から訴えます。がんばりましょう。



2016年国民平和大行進 池子に向かってデモ行進

暮らしが安心に

一人ひとりが大切にされる社会へ

30万人分の保育所建設

国の責任で待機児童を解決。認可保育所を緊急に3000カ所増設。保育士の賃金引上げと待遇改善。国の助成拡充で高校卒業まで医療費は無料に。義務教育の無償化、自校方式の中学校給食推進、ひとり親家庭への支援の拡充。

社会保障を最優先に

年金削減の中止。高すぎる医療費の窓口負担を減らす。介護保険の負担を軽くし、特養ホーム待機者の解消。

月額3万円の給付奨学金制度(70万人分)を

大学の学費(授業料)を段階的に値下げし、10年間で国公立も私学も半減に。

税金の使い方・
集め方、働き方を

変える政治を

あさか由香

働くルールをつくる

ブラックなくし、 格差のない社会へ

ブラックな働き方をなくし、人間らしく働けるルールを。正社員があたり前、サービス残業をなくし、長時間労働の規制と時間短縮。中小企業への財政支援をつよめ最低賃金は1500円をめざす。ブラック企業とブラックバイトを規制。

戦争法なくす

憲法の平和 ブランドを世界に

憲法9条の理念を世界にひろげる。戦争法(安保法制)の廃止、集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回。立憲主義・民主主義をとりもどし、個人の尊厳を大切に政治の実現。沖縄・辺野古への新基地建設中止。原子力空母の母港撤回。厚木基地の米軍機訓練中止・爆音解消、核も基地もない平和な神奈川へ。

法人税減税4兆円、軍事予算5兆円の一部で…



認可保育所30万人分

5000億円程度



大学授業料半減

毎年1100億円程度(10年後1.1兆円)



給付奨学金

年間2500億円程度



子ども医療費無料化

年間2400億円

(国として就学前まで実施すれば自治体がさらに拡充できる)

暮らしの財源確保を

大企業への4兆円の減税バラマキを中止し、「税金は負担能力に応じて」の原則にたった公正で民主的な税制改革を。増税するなら、アベノミクスでうらった富裕層、大企業から、5兆円をこえる防衛費(軍事費)の見直し・削減。

みんなと手をつなぎ

私はいま、幼い子ども2人を育てるママとして、すべての子どもたちがどんな環境で生きてほしいかを考えた時、もっと一人ひとりが大切にされる社会、そして国民主権・基本的人権・平和主義を特徴とする日本国憲法が守られなければいけないと強い思いを抱いています。親や祖父母の世代が、多くの犠牲や困難を乗り越え、守り抜いてくれた憲法を次の世代に引き継ぐ責任は、私たちの世代にあると思います。憲法違反の「戦争法」を、多くの人々と手をつなぎ、必ず廃止させる決意です。

消費税10%の増税中止

原発ゼロの日本、再生エネルギー先進国を

企業・団体献金も、政党助成金も、受けとらない党だから、だれにも遠慮なく、国民の立場で対案を示し、政治をすすめることができます。

